

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18006	1	後期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	コミュニケーション概論 (Introduction to Communication)				
担当教員名	藤井 毅彦				
授業の概要及び到達目標					
<p>現代の高度情報化社会においては、インターネットやマルチメディアを中心とする文化活動が世界規模で営まれているが、個人に対しては情報に流されて自己を見失う危険性も指摘されている。そのような状況のなかで、いかに自分自身で物事を考え、どのように他者と理性的なコミュニケーションをとればよいのだろうか？</p> <p>改めて「コミュニケーション」とは何かという難しく聞えるかもしれないが、その根底にあるのは「他者理解」、つまり自分以外の人々の考え方や生き方をどのように理解するのかという問題である。ここで大切なのは、意見が違うという結論ではなく、なぜ意見が違ってくるのか、その「理由」を議論することであり、その際に論理性が求められるのである。</p> <p>授業では、コミュニケーションを構成する文化・言語・心理・社会的背景に多面的にアプローチし、理性的にコミュニケーションする方法のケース・スタディを行う。論理的思考方法と自己表現能力を高め、各自の特性や個性に応じたユニークなコミュニケーション方法の修得を到達目標とする。この授業を通して、就職活動や社会人になってからも有効な方法論を身につけてほしい。</p>					
準備学習等					
授業前には、各授業時にカバーするテキストの問題提起の部分を読んで、自分の意見を考えておいてほしい。					
成績評価の方法	出席および授業参加 50%、期末試験 50%の総合評価。				
テキスト	「コミュニケーション論」高橋昌一郎監修（情報文化研究会）				
参考図書	※「理性の限界」高橋昌一郎著（講談社現代新書）（ISBN 978-4-06-287948-4） ※「知性の限界」高橋昌一郎著（講談社現代新書）（ISBN 978-4-06-288048-0） ※「感性の限界」高橋昌一郎著（講談社現代新書）（ISBN 978-4-06-288153-1）				
備考	知的好奇心を持って、積極的に授業に臨んでほしい。 オフィスアワーは、授業終了後、教室で質問を受け付ける。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。				

授 業 計 画

1. はじめに：コミュニケーションとは何か？
2. 文化とコミュニケーションⅠ：文化、文化伝播、世界観、価値観
3. 文化とコミュニケーションⅡ：倫理観、時間観、記号論、ステレオタイプ
4. 文化とコミュニケーションⅢ：ジェンダー、カルチャーショック、アイデンティティ
5. 言語とコミュニケーションⅠ：言語相対論、言語習得、バイリンガリズム
6. 言語とコミュニケーションⅡ：方言、敬語、コンテクスト、レトリック
7. 言語とコミュニケーションⅢ：メタファー、ユーモア、翻訳、機械翻訳
8. 心理とコミュニケーションⅠ：知覚、IQ、自己概念、空間学
9. 心理とコミュニケーションⅡ：接触学、動作学、視線、周辺言語
10. 心理とコミュニケーションⅢ：発話行為、フィードバック、ヒューマンエラー
11. 社会とコミュニケーションⅠ：外国語教育、コミュニケーション能力、会話展開、コミュニケーションスタイル
12. 社会とコミュニケーションⅡ：対人魅力、リーダーシップ、ディスクリージャー、アファーマティブアクション
13. 社会とコミュニケーションⅢ：インフォームドコンセント、バリアフリー、アナルセラピー
14. まとめ：コミュニケーションとディベートの有効性
15. 授業総括・授業評価